

台北日本人学校での経験を通して

所属 高原町立高原中学校

教諭 加治屋 誠朗

(派遣先 台北日本人学校)

【台北日本人学校の紹介】

海外に在留する日本人の子どものために海外に設置された在外教育施設（日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設）は、世界50カ国・地域に88校が設置されており、約2万人の児童生徒が学んでいます。

私は平成23年度から平成25年度の3年間、台湾にある台北日本人学校に派遣されました。1947年に開校した学校で、平成25年度には、全校児童生徒が約820名（小中学部合わせて26学級。2割程度の家庭は、保護者が外国籍。）という大きな規模の学校でした。入学式、卒業式はもちろん、体育大会、文化祭が行われます。また、課外活動（部活動）が放課後にあり、台湾の大会に参加するなど、日本の中学校に近い環境が整っています。この環境に関しては、保護者の強い思いが影響しています。親の都合で急に海外での生活を強いられる児童生徒も多く、そのような子供に不自由はさせたくない、迷惑をかけたくないという強い思いは、私たち教員にもひしひしと伝わり、その期待に絶対に答えなければと全国各地から派遣された教師が一丸となって、学校を盛り上げていきます。

中学3年生の進学先は7～8割は日本の高校に進学し、残りの生徒は台湾の現地高校や海外の高校へ進学します。私は中学3年を2年間担当しましたが、日本に近い日本人学校ということもあり、公・私立含めて1人当たり平均6～8校は受験するため、事務作業は本当に大変なものでしたが、宮崎県以外の高校の状況を知ることができ、本当に勉強になりました。関東・関西方面がほとんどを占め、有名私立高校の受検をする生徒を指導するのはとてもやりがいがありました。

【海外から見た日本について】

私は台湾に行って、世界の中での日本について深く考えさせられました。

私が派遣されたのが2011年4月でした。震災後でまだ日本国内が落ち着かない中で不安いっぱいの出国でした。その中で台湾は、日本が台湾中部大地震や南部台風災害で台湾を支援してくれたことに触れ、「我々も同様に積極的に支援する。すぐに救援隊を出動したい。」と表明しました。また、親日家として知られる李登輝元総統は、「日本の皆様の不安や焦り、悲しみなどを思い、私は刃物で切り裂かれるような心の痛みを感じている。自然の猛威を前に決して運命だとあきらめず、元気と自信、勇気を奮い起こしてほしい。」と日本語で励ましのメッセージを寄せてくれました。また、台湾の一般の方々から救援物資や義損金200億円以上（世界各国中で最多額）が日本へ送られました。

台湾は親日的であるという話は、このようなことからもうかがえますが、なぜ親日的なのかが3年間の生活の中で現地の方々と話していく中でだんだんと分かってきました。過去、台湾は日本の統治下にありました。これまで統治時代と聞くと、正直あまり良いイメ

ージを持ってないというのが正直なところでした。しかし、統治時代に日本が台湾の衛生環境の改善や農林水産業の近代化、鉄道やダム建設など一生懸命取り組んでくれたおかげで、今の民主的な台湾があると考える人が多いという実情から、親日的であることが分かりました。様々な価値観に触れることができ、衝撃を受けました。日本の貢献度の高さは過去の話だけではなく、今も高層建築技術や地下鉄の建設などで日本の企業が多く台湾に進出しています。また、教育の面においても、日本を見習っている学校が少なくないという状況には驚きました（日本の大学院に留学する台湾の学生も大変多いようです）。日本の活躍は、海外にいと様々なところで見たり聞いたりすることができます。その度に、日本のすばらしさを知り、誇りを持つことができました。

また日本人学校の3年目には教務主任まで任せていただき、宮崎県の教師として恥じぬようにこれまでの経験の全てを生かし、しっかり頑張ることができました。全国の教師が集まっている中で、宮崎県で育てていただいた教師力が通用したことは、私にとってとても自信になりました。宮崎県の教育を誇りにも思いました。本当に貴重な経験させてもらいました。

このような機会をいただきましたことに、多くの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、変化が著しい社会を生きる宮崎県のまたは日本の子供たちのために、私自身が海外で学んだことを還元できるように精一杯教育に携わっていきたいと思います。



(新聞を使った民間レベルでの日本から台湾への感謝を伝えようという取組)



日本人学校の入学式の様子



日本人学校の授業の様子



台湾の名所の写真



統治時代を経験した、台湾の方が日本人学校の児童生徒に話をしてくれている様子



侍ジャパンや荒川静香さん、辻井伸行さんなど、毎年のように有名人が日本人学校を訪問して下さいます。